様式第３号

平成 30 年度　学校経営報告書（自己評価）

学校番号	６９（分）	学 校 名	天竜高等学校春野校舎	校 長 名	織田　敦

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	**多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。**	・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合　（90%以上） ・先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合　（90%以上）	・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合　86% ・先生は丁寧に教えてくれていると答えた生徒の割合　91%	B	「授業の進度」は目標の数値を達成することはできなかったが、昨年より改善することができた。引き続き丁寧な授業を心掛けていきたい。
		・家庭学習時間の平均（平日 45 分以上）（ﾃｽﾄ前 90 分以上） ・家庭学習時間調査（年間４回実施）	・家庭学習時間の平均　平日は　36 分　テスト前は 98 分 ・学習時間調査は、年間目標を達成することができた。	B	「テスト前」は、おおむね目標が達成できた。しかし、「平日」は全学年で目標学習時間を下回ってしまった。ＨＲや集会で生徒に改善を呼びかけたい。
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	・問題行動の件数を前年度より減少させる。（昨年度３件４名）	・問題行動の件数　３件４名	B	概ね目標を達成できたが、生徒の自己有用感をさらに醸成することにより問題行動を予防したい。
		・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合　（85%以上）	・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答えた生徒の割合　83%	B	前年度から約 11%低下した。生徒個々への対応を教員全体で共有することを強化するとともに、SST 講座などを通して、さらに生徒のコミュニケーションスキルの向上を図りたい。
ウ	**生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。**	・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合　（85%以上）	・進路についての指導が適切になされていると答えた生徒の割合　90%	A	３年生の進路決定状況も良好であり、進路実現を果たせた生徒が多かった。各自が希望する進路先に進めるよう学力面の充実を図るため、補習の参加者が増えるような取り組みをしたい。
		・学年に応じて、進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施	・年２回の進路講話、二俣校舎と合同の大学キャンパスツアーと進路ガイダンス、２年生企業見学会を実施した。	A	学年に応じた進路行事を通して、生徒に進路意識を持たせることができた。自己理解と共に上級学校や職業等の理解が深まり、より良い進路指導に繋がるような企画を次年度もしていきたい。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合 （75%以上）	・部活動に積極的に参加し充実していると答えた生徒の割合 85%	A	部活動に意義を感じ、積極的に取り組んでいる生徒が多い。
		・学校行事が充実していると答える生徒の割合 （85%以上）	・学校行事が充実していると答えた生徒の割合 84%	B	生徒会や委員会を中心に一人ひとりが役割をもち、主体的に学校行事に取り組む姿が見られた。
		・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合 （80%以上） ・生徒一人当たりの年間貸出冊数 （４冊以上）	・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合 83% ・生徒一人当たりの年間貸出冊数 3.6 冊	B	・朝読書で図書室の本を読んでもらえるよう、利用しやすい環境にしたい。 ・図書室を利用したり、本を借りたりする生徒が少し増えた。授業での図書室使用も多少増えたが、一部の教科にとどまっている。今後も使いやすいよう整備をする必要がある。
オ	**自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。**	・保健関係たよりの発行 （月１回） ・生徒の状況把握調査 （年２回実施）	・保健関係たよりの発行 月１回 生徒の状況把握調査 年２回	A	調査により一層生徒の自己肯定感を育成する必要を感じた。次年度も調査後の面談を実施したい。
		・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 （85%以上） ・生徒サポート委員会 （週１回開催）	・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 79% ・生徒サポート委員会 基本的に週１回開催	B	・目標を達成することができなかった。悩みを抱える生徒の多様化もあり、今後、さらなる校内体制の強化を図るとともに、校内で抱えきれないものは外部機関との連携も確立していきたい。 ・生徒サポート委員会では生徒の情報を共有することで、予防的生徒指導と教育相談の効果をより高めることができたと考える。
カ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	・防災訓練実施 （年間３回） ・地域防災参加率 （60%以上）	・防災訓練年間 ３回以上実施 ・地域防災訓練参加率 76%	A	・防災訓練を４月・９月・３月に計画的に実施することができ、抜打ち訓練も１回実施した。発生後の生活を想定した訓練も行いたい。 ・地域防災訓練参加率は、インフルエンザの流行もあり、昨年度の 79%よりは低下したが相変わらず高い。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
キ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	・地域との交流やボランティア活動をしていると答える生徒の割合 （50%以上） ・春埜祭へのＰＴＡ役員出席率 （90%以上）	・地域との交流やボランティア活動をしていると答えた生徒の割合 58% ・春埜祭へのＰＴＡ役員出席率 100%	B	・行事や部活動で交流を盛んにしているが、生徒の意識が薄くなっているようなので、さらに多くの生徒が地域との交流やボランティア活動に参加するよう呼びかけ等を行い、一つ一つ意義を語うする必要がある。 ・ＰＴＡ役員は学校行事に積極的に参加をした。ＰＴＡ総会への出席率を向上させるなどして、保護者とのさらなる連携を図りたい。
		・春校だより発行 （年間４回以上） ・ＨＰの更新 （毎月２回以上）	・春校だより発行 年間４回 ・ＨＰの更新 毎月２回以上	A	・春校だよりを予定通り発行することができ、ＨＰの更新も頻繁に行われ、積極的な情報発信ができた。 ・春野校舎の魅力を外部に発信する様々な方法を模索したい。
		・監査・検査の文書指示・指摘件数 （０件） ・校内での事故・災害箇所 （０件）	・監査・検査の文書指示・指摘件数 ０件 ・校内での事故・災害箇所 ０件	A	・事務執行において、指示・指摘を受けた件はなかった。 ・校内での事故・災害の発生はなかった。 引き続き、本校（二俣校舎）や、職員間の連絡を密にして相互理解に努め、少人数体制での施設設備の効率的な管理を行う。
ク	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	・職員研修会の実施 年５回	授業研究３回、ＩＣＴ機材関係１回、防災救命関係２回、不祥事根絶関係７回の計１３回を実施した。	A	特に ICT 利用と対話的主体的で深い学びに向かわせる授業について充実した研修ができた。
		・不祥事根絶研修の実施　　月１回	７回は職員会議の後で時間をとり、他月は朝の打合せの際に行った。本年度初めて保険会社を講師に招き交通事故削減研修会も実施した。	A	校長がワークショップ形式で研修を企画したり、外部との連携も始めて、例年より充実した研修ができた。今後も継続したい。
		・定時退勤日の実施 週１回	年度当初決めた月曜にはなかなか定時退勤できなかったが、本校は普段から18:30前後には基本的に全員退勤できた。	B	土日に部活動がない分、月曜にも部活動があり、月曜に全員定時退勤はできなかった。各部が休みの日には各々定時退勤できた。

様式第３号